

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2020.12.7

下水道機構の『新技術情報』 第434号

(公財)日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

今年のクリスマスツリーはどうしましょう？

1886年に横浜のスーパーマーケット明治屋が日本初のクリスマスツリーを飾り付けたのが最初と言われており、本日がクリスマスツリーの日となっています。

今年は家で過ごすことが多くなっていますし、クリスマスツリーを豪勢に飾ってみても良いかも知れませんね！

という私も、卓上に乗るくらいの小さなクリスマスツリーを買って飾ってみようかと思っています。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第434号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・今週はありません。

■機構の行事予定

- ・第390回技術サロンを開催します！

■Tea Break

- ・枕
(のぶりんさんからの投稿です)

■ピックアップ！機構情報

- ・エンジニアリングリポート
(下水処理場のエネルギー自立化ケーススタディに関する共同研究)
- ・新研究テーマの紹介
(改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計に関する共同研究)

■はしわたし

- ・高知大学の藤原 拓教授よりシンポジウムのお知らせです！

■国からの情報

- ・12/7付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

○今週はありません。

機構の行事予定

。 。 ○ 。

○第 390 回技術サロンを開催します！

日 時：令和 2 年 12 月 10 日(木) 16:00~17:00

場 所：Zoom ウェビナー

講演者：国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部

下水道処理研究室長 田嶋 淳氏

テーマ：国土技術政策総合研究所 下水道処理研究室が取り組んでいる研究内容について

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon390n>

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。 。 ○ 。

●枕

(のぶりんさんからの投稿です)

私の部屋には枕があります。

寝られるには寝られるんですが、「寝たー！」とか「スッキリしたー！」という実感をしたことがないのです。

結構良いマットレスを買ったので、「これは枕のせいだな！」と決めつけた結果、通販番組やら広告やらで見かけると取りあえず検討して購入した結果、首を支える物やら、抱き枕やら、握りつぶしてもすぐに元の形に復元する物やら、7点で身体を支える物など。

結局、どれもコレだ！という実感もなく色々と枕を変えて睡眠に挑み続けてます。

ふと、既存のマットレスの上に敷いて使う寝具の広告を見て、まさかのマットレスが原因ですか？と思い直し、色々調べて見ると身体に合わないマットレスや敷き布団を使っているとでる症状がピッタリはまるではありませんか。

ああ、そうですか～。そっちでしたか～。と妙に納得して、まずはお試しできる敷き布団を予約してみました。

届くのは1月になる予定なので今から身体の節々を痛ませながら楽しみにしています！

そう、私の部屋には枕が7つあります。

ピックアップ！機構情報

(下水道機構情報 Vol. 15 No. 31 2020. 8 の中から記事をご紹介します)

。 。 ○ 。

・新研究テーマの紹介

(下水道処理場のエネルギー自立化ケーススタディに関する共同研究)

資源循環研究部ではこれまで、省エネ技術や創エネ技術について、技術マニュアルや技術資料として公開してきました。これまで実施してきた地方公共団体等との省エネやエネルギー自立化の共同研究では、これらの技術マニュアルや技術資料を利用し、省エネ機器の導入効果を明らかにしてきました。また、主ポンプや送風機等の主要機器の消費電力分析により、運転管理手法の改善による省エネ効果を実証するとともに、消化ガス発電や廃熱利用等の創エネ技術についてもその有効性を確認しました。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2020-12-07-quarterly1>

・新研究テーマの紹介

(改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計に関する共同研究)
資源循環研究部では、これまで省エネや創エネの共同研究および技術資料の発刊により、主ポンプおよび送風機等の主要機器の消費電力分析の必要性、これら主要機器の運転改善効果、省エネ機器および創エネ技術導入効果を明らかにすることができました。

一方、省エネ機器を導入したものの、現状では省エネになっていない事例が散見されています。

「改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計に関する共同研究」では、最近開発された省エネ技術や創エネ技術を有効的に導入し、下水処理場の改築・更新計画の策定に向けた計画・設計マニュアルの作成を行うことを目的として実施します。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2020-12-07-quarterly2>

※PDFを開けない方は以下のURLから該当する記事を右クリックし「対象をファイルに保存」した後に、保存したファイルを直接開いてください。

→ <https://www.jiwet.or.jp/quarterly31>

下水道機構情報 Vol. 15 No. 31 2020. 8 (最新刊)

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly31>

WEB版機関誌下水道機構情報 Plus+ 19号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter19>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○○。

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。○○。

○高知大学の藤原 拓教授よりシンポジウムのお知らせです！

高知から発信する下水道の未来 第4回シンポジウム

「小規模自治体における下水道事業の未来」

日時：2021年1月13日(水) 13:00~16:00

会場：ZoomによるWebinar開催

◆ 開会挨拶

高知大学 学長 櫻井 克年

◆ 来賓挨拶

須崎市長 楠瀬 耕作

◆ 趣旨説明

Webinar 説明と書籍発刊案内「下水道持続への挑戦～課題解決先進県「高知」からの発信～」

高知大学 教授 藤原 拓

◆ 特別講演 13:20~14:20

フランス・ドイツ・日本の上下水道 PPP の比較考察～日本の方向性を考える～
東京大学 下水道システムイノベーション研究室 特任准教授 加藤 裕之
下水道施設と都市ごみ焼却施設の連携について
京都大学 大学院工学研究科都市環境工学専攻 准教授 大下 和徹

【休憩】

◆ 一般講演 14:30~15:20

須崎市コンセッション事業を自治体の立場から考える
須崎市 建設課下水道担当参事兼都市計画係長 西村 公志

須崎市コンセッション事業を民間事業者の立場から考える
(株) クリンパートナーズ須崎 企画管理部長兼調査計画部長 高井 敦紀

◆ パネルディスカッション 15:20~15:50

コーディネーター 藤原 拓
パネラー 加藤 裕之、大下 和徹、西村 公志、高井 敦紀

◆ 閉会挨拶

高知市 上下水道事業管理者 山本 三四年

◇申し込み先 (以下をクリックしてください)

<https://www.jiwet.or.jp/kouchi-symposium4>

※お申し込みフォームに移動します。

◇定員: Zoom 契約等の都合上、500名とさせていただきます。なお、参加は事前申し込み、先着順とさせていただきます。

◇参加費: 無料

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。。。。

国からの情報

。。。。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2020.12.07 の情報です)

配信元: 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

★下水道ホットインフォメーション

2020.12. 7

=====

下水道に関する国土交通本省関係の情報などを皆様にお送りするものです。

地方公共団体・関係団体の皆様におかれても、このホットインフォメーションに掲載したい情報をお持ちの場合、お気軽に返信メールでお知らせください。

適宜、関係者にお伝え下さい。

12月1日、菅内閣総理大臣より、国土強靱化について、以下の趣旨の発言がありました。

○来年度から令和7年度までの5年間について

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策（仮称）」をまとめる。

○追加的に必要な事業規模は15兆円を目指し、

初年度は令和2年度第3次補正予算で措置する。

○来週早々にも経済対策を決定。

地方公共団体より、R3当初予算でご要望いただいている強靱化に必要な事業については、R2補正予算で最大限措置する方向としていますので、当初予算の補正での前倒しの実施を改めてよろしく願いいたします。

（参考）菅首相 ” 国土強じん化5か年計画 新たな策定を指示”

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201201/k10012739591000.html>

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○ 第18回経済財政諮問会議の開催(12/4)

○ 押印を求める手続の見直しのための国土交通省関係省令の一部を改正する省令案（仮称）について（概要）（国土交通省）

○ 下水道資源利用セミナーを開催！～ 地域の下水道資源を活用した取組事例を学びませんか ～（国土交通省）

○ 「マンホールカード」に新しい仲間が加わります！

～マンホールカードを通じて下水道のコト考えてみませんか？～（国土交通省）

○ 下水道への紙オムツ受入れに関する地方公共団体説明会を開催し、協力可能と意思表示いただいた団体を公表しました。（国土交通省）

○ グリーンインフラ官民連携プラットフォームプレナリーセッション（合同部会）をWEB開催します（国土交通省）

○ 高知から発信する下水道の未来 第4回シンポジウム

「小規模自治体における下水道事業の未来」のご案内（高知県）

○ 第18回経済財政諮問会議の開催(12/4)

12月4日、経済財政諮問会議（議長：内閣総理大臣）が開催され、国土交通大臣等からの報告の他、

「経済・財政一体改革の重点課題（社会資本、地方行財政、社会保障）」、

「令和3年度予算編成の基本方針（案）」等が審議されています。

(会議資料)

<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2020/1204/agenda.html>

<資料 1-1>令和3年度予算における経済・財政一体改革の重点課題
～社会資本整備、地方行財政～ (有識者議員提出資料) (抜粋)

【社会資本】

- (1) 社会資本整備におけるデジタル化・脱炭素化の推進
 - ・デジタル技術、脱炭素化技術等を採用する事業を優先支援。
 - ・国・都道府県・市町村のインフラデータの標準化・一体的類型化・可視化
- (2) 公共サービスの広域化・民間活用
 - ・2022年度までに全都道府県で策定する上下水道広域化プランについて、総務省は、関係省と連携して策定状況を把握、自治体への公企業会計に係るノウハウ支援、資産・経営状況、メンテナンスコストと利用料金の関係などをプランに盛り込むよう促す。
 - ・国交省、厚労省等は、上下水道インフラの整備等に係る補助金の交付に当たって、策定された同プランに基づく事業を優先的に採択、KPI を掲げて取組を推進。
 - ・上下水道等の重点分野における PPP/PFI 導入事業の優先採択
- (3) インフラ老朽化対策の推進
 - ・個別施設計画において修繕時期と費用、今後の維持管理費縮減の取組等が明確化された事業を優先的に補助対象。
 - ・社会資本ストックの選択と集中、機能低下の未然防止に取り組む事業を優先支援
- (4) 防災・減災、国土強靱化
 - ・財政健全化計画との整合性を確保、予防防災の重視、ソフト施策の拡充に重点

【地方行財政】

- (1) デジタル時代の地方財政の仕組み
地方公営企業も早期にデジタル化が実現されるよう、工程を明記。

<資料 2> 国民の命と暮らしを守り、
「新たな日常」を築くための社会資本整備の推進 (赤羽臨時議員提出資料)

<資料 5> 令和3年度予算編成の基本方針(案) (抜粋)

2.②「15 か月予算」の考え方で、令和2年度第3次補正予算を、
令和3年度当初予算と一体として編成。

(注) 国土強靱化については、来年度から令和7年度までの5年間において、
「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(仮称)」を取りまとめる。
本対策は、激甚化する風水害や巨大地震等への対策、
予防保全に向けた老朽化対策の加速、
デジタル化等の推進にかかる対策を柱とする。
特に追加的に必要となる事業規模は15兆円程度を目指し、
初年度については、令和2年度第3次補正予算において措置。

- 押印を求める手続の見直しのための国土交通省関係省令の一部を
改正する省令案(仮称)について(概要)(国土交通省)

規制改革実施計画(令和2年7月17日閣議決定)において、
「原則として全ての見直し対象手続(※)について、恒久的な制度的対応として、
年内に、規制改革推進会議が提示する基準に照らして順次、必要な検討を行い、
法令、告示、通達等の改正やオンライン化を行う」こととされているところです。

これを踏まえ、国土交通省が単独で所管する省令において、国民や事業者等に対して押印を求めている手続について押印を不要とする等の所要の改正を行う予定です。

下水道法関係では、下水道法施行規則（昭和42年建設省令第37号）について、様式中の押印欄の削除等を内容とする改正を予定しています。

（12月下旬頃を予定）

※所管する行政手続等のうち、法令等又は慣行により、国民や事業者等に対して紙の書面の作成・提出等を求めているもの、押印を求めているもの、又は対面での手続を求めているもの

（改正概要）

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/PcmFileDownload?seqNo=0000209333>

なお、省令改正にあわせて、下水道処理施設維持管理業者登録規程（昭和62年7月9日建設省告示第1348号）も同様に、様式中の押印欄の削除等を内容とした改正を予定しています。（12月下旬頃を予定）

また、標準下水道条例（昭和34年11月18日厚生省衛発第1108号・建設省計発第441号）についても同様の改正を予定しており、12月下旬頃に通知の発出を予定しています。

○ 下水道資源利用セミナーを開催！～ 地域の下水道資源を活用した取組事例を学びませんか ～（国土交通省）

国土交通省では、下水道に集まる水、バイオマス、リン、熱などの様々な資源をエネルギーや肥料として有効利用し、下水道を拠点とした資源循環システムの構築を目指しています。

今年度、各地の下水道資源を活用した地域の取組事例を学び、地域での下水道資源の活用可能性を考えることを目的としたWEBセミナーを令和2年12月14日（月）～令和3年1月15日（金）で開催いたします。

詳細は以下に記載しておりますので、ふるってご参加ください。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000442.html

○ 「マンホールカード」に新しい仲間が加わります！
～マンホールカードを通じて下水道のコト考えてみませんか？～（国土交通省）

12月17日から発行される第13弾では、初参画となる22の地方公共団体などで、50種類のマンホールカードが配布されます。

マンホールカードの発行を通じて下水道の役割を知っていただくとともに、各地に足を運んでいただくことで観光振興につなげていきます。

国土交通省は、これらの取組を実施する地方公共団体と連携し、下水道への関心醸成に向けて、広く情報発信を行ってまいります。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000459.html

○ 下水道への紙オムツ受入れに関する地方公共団体説明会を開催し、協力可能と意思表示いただいた団体を公表しました。（国土交通省）

国土交通省では、下水道への紙オムツ受入れについて令和3年度にBaタイプ

(固形分離タイプ)の装置が実装された場合の各分野への影響・効果等の確認を行うための社会実験を実施する予定としております。

本年11月に、社会実験に協力可能な地方公共団体を把握するため、地方公共団体に対して社会実験の実施に関する説明会を開催し、協力可能と意思表示いただいた団体を公表しました。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000697.html

○ グリーンインフラ官民連携プラットフォームプレナリーセッション
(合同部会) をWEB開催します(国土交通省)

国土交通省では、12月17日(木)に「グリーンインフラ官民連携プラットフォームプレナリーセッション(合同部会)」をWEB開催します(参加無料)。

午前の公開セミナーでは、筑波大学名誉教授の石田東生氏、株式会社今治 夢スポーツ代表取締役会長の岡田武史氏の講演のほか、様々な分野におけるグリーンインフラの取組を紹介します。

午後からは、本年3月に設立したプラットフォームのこれまでの取組を振り返り、意見交換を行うとともに、今後の取組についてディスカッションします※。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000230.html

○ 高知から発信する下水道の未来 第4回シンポジウム
「小規模自治体における下水道事業の未来」のご案内(高知県)

日時: 2021年1月13日(水) 13:00~16:00

会場: ZoomによるWebinar開催

◆ 開会挨拶

高知大学 学長 櫻井 克年

◆ 来賓挨拶

須崎市長 楠瀬 耕作

◆ 趣旨説明

Webinar 説明と書籍発刊案内「下水道持続への挑戦～課題解決先進県「高知」からの発信～」

高知大学 教授 藤原 拓

◆ 特別講演 13:20~14:20

フランス・ドイツ・日本の上下水道PPPの比較考察～日本の方向性を考える～

東京大学 下水道システムイノベーション研究室 特任准教授 加藤 裕之

下水道施設と都市ごみ焼却施設の連携について

京都大学 大学院工学研究科都市環境工学専攻 准教授 大下 和徹

休憩

◆ 一般講演 14:30~15:20

須崎市コンセッション事業を自治体の立場から考える

須崎市 建設課下水道担当参事兼都市計画係長 西村 公志

須崎市コンセッション事業を民間事業者の立場から考える

(株)クリンパートナーズ須崎 企画管理部長兼調査計画部長 高井 敦紀

◆ パネルディスカッション 15:20~15:50

コーディネーター 藤原 拓

パネラー 加藤 裕之、大下 和徹、西村 公志、高井 敦紀

◆ 閉会挨拶

高知市 上下水道事業管理者 山本 三四年

◇申し込み先

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=50hfiGe-80iFRXuCA2nCDFIOEzWeb-9EqPqaVTrzkdUMzZYNjVVRU41R1kxVVMwTE9DTkhMR1BGQy4u>

◇定員：500名（参加は事前申し込み、先着順）

◇参加費：無料

◇共催：高知大学・高知県（予定）・高知市（予定） 後援：須崎市（予定）・香南市（予定）

協賛：日本水道新聞社

◇お問い合わせ：高知県土木部公園下水道課

(TEL:088-823-9854 E-mail: 171801@ken.pref.kochi.lg.jp)

◆申込締切り ◆令和2年12月28日

【参考情報】

◆ 生活インフラ、デジタル化促す <12/2 日本経済新聞>

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ066809310Q0A131C2EE8000/>

◆ 月島機械、京都・亀岡市の下水処理場で消化ガス発電 <12/1 日本経済新聞>

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ066862380R01C20A2X93000>

◆ 公害対策の特措法、延長求めず 「目的おおむね達成」—中環審部会

<12/1 時事通信>

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2020120100916&g=soc>

◆ WEB特集 壊れたら もう直せない… <12/1 NHK>

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201201/k10012739501000.html?utm_int=all_side_ranking-social_001

◆ 「菌の専門家」が推測する、ドラえもんが充電ナシで動ける仕組み <11/29 FRIDAY>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6787a1e3d445ac567129b120c1e6b95ea2928492>

◆ 下水道へ関心を 福井市マンホールコンテスト最優秀作品を設置 <11/26 福井テレビ>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/842c48b0fba037dfb0f3406b6d9893d32c806de1>

◆ オリジナルマンホール描いた下水道ポスター あふれる小学生のメッセージ

<12/2 三重テレビ>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bb04ba9e13dc28591cc8c3ef57d13b2ba047237e>

◆ 佐賀駅前のおしゃれすぎる観光案内所 「ロマサガ」マンホールのスタンプラリー開催中
～ふるさとWish佐賀県～ <12/2 九州朝日放送>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/27888cb4bd774cea3e93b213d9a39818a9edef4b>

◆ 江口寿史さんデザインのマンホールカード全6種類 熊本・水俣で17日から無料配布
<12/1 毎日新聞>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/60dd6c9fccae1ce74e63b94cf57e7b68e7f4b8d>

◆ 本厚木駅周辺などで浸水対策 貯留管工事、シールドマシンを搬入

<12/4 カナロコ>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f07b62de0e12c272ed25d65f6f1e77691101f0b1>

◆ 町守る「ヒーロー」巨大ポンプに歓声 静岡・蒲原地区の園児見学

<12/1 静岡新聞>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f870bf06d7a6edbd8b4d380d820813c26130a5b5>

◆ 小学校のオンライン活動、県内でじわり 〈12/5 朝日新聞デジタル〉
<https://www.asahi.com/articles/ASND473R3NC5UOHB006.html>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>
○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから
→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信停止はこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>
○ニューズレターはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>
○はしわたしのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>
○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>